



大会名	平成27年度全国中学校体育大会 第45回全国中学校バスケットボール大会																
会場	一関市総合体育館																
日時	2015年8月24日(月)	9:30															
コート	Aコート 第1試合																
カテゴリー	女 決勝トーナメント1回戦																
主審	恩地 孝明																
副審	小出 聡子																
TEAM A		TEAM B															
<b>二島</b> (福岡県)	47 ●	51 ○ <b>相模女子</b> (神奈川県)															
	<table border="1"> <tr><td>7</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>0</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>22</td><td>4th</td><td>11</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	7	1st	15	18	2nd	8	0	3rd	17	22	4th	11	-			
7	1st	15															
18	2nd	8															
0	3rd	17															
22	4th	11															
-																	

### BOXスコア

TEAM A		二島						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	中村 理瑚	DNP	0	0	0	0	0	
5	池下 桃佳	×	0	0	0	0	2	
6	池下 陽菜	DNP	0	0	0	0	0	
7	木多良 菜々	×	8	1	2	1	1	
8	小柳 亜結	×	2	0	1	0	2	
9	首藤 祐希	×	14	0	7	0	1	
10	中村 夏菜	DNP	0	0	0	0	0	
11	中嶋 ゆめ	DNP	0	0	0	0	0	
12	松本 舞星	DNP	0	0	0	0	0	
13	齋藤 風香	DNP	0	0	0	0	0	
14	小松 優喜	/	0	0	0	0	0	
15	矢野 聖華	×	10	2	2	0	3	
16	中園 陽菜乃	DNP	0	0	0	0	0	
17	池松 美波	DNP	0	0	0	0	0	
18	森尾 萌乃花	/	13	1	5	0	0	
コーチ	山崎 修							
合計			47	4	17	1	9	

TEAM B		相模女子						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	熊澤 杏香	×	12	0	5	2	0	
5	モハメド 早野夏	×	18	0	8	2	0	
6	栗原 波那	×	6	0	3	0	1	
7	藤原 麻里亜	×	2	0	1	0	0	
8	内田 樹更	DNP	0	0	0	0	0	
9	木下 芙美	DNP	0	0	0	0	0	
10	坂本 凜琉	DNP	0	0	0	0	0	
11	渡辺 菜緒	×	13	2	3	1	0	
12	瀬戸 愛梨	DNP	0	0	0	0	0	
13	小倉 愛梨	DNP	0	0	0	0	0	
14	小林 悠芽子	DNP	0	0	0	0	0	
15	柏木 愛彩	DNP	0	0	0	0	0	
16	松崎 玲那	DNP	0	0	0	0	0	
17	中屋 柊子	DNP	0	0	0	0	0	
18	星野 清衣	/	0	0	0	0	0	
コーチ	田島 稔							
合計			51	2	20	5	1	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

### 戦評

決勝トーナメント1回戦、九州1位二島と関東2位相模女子の対戦。両チームハーフのマンツーマン Def でスタート。相模#11の3Pで先制する。その後、相模#5の連続得点、ブロックショットで得点を伸ばし、終了間際には相模#6のシュートが決まり、7-15で相模がリードして1Qを終了。2Q、先手を取ったのは二島、#15、#18がシュートを決め、フロントコートから強いプレッシャーをかけるDefで追い上げる。ハーフコートOffでは、ドライブを仕掛け、相模のDefを翻弄し、#7のシュートで逆転。尚もDefで強いプレッシャーをかけ、相模#5のマークをきつし自由にプレーをさせず、試合の流れを引き寄せる。25-23で2Qを終了した。

3Q、流れを引き戻したい相模は、高さを生かしてOffを組み立て、#5の連続5得点で再逆転。#4のリバウンドシュートで得点を伸ばす。対する二島はドライブからの合わせでシュートを狙うが、リングに嫌われ3Q無得点。完全に主導権を握った相模がリードを広げ、25-40で3Qを終える。追い上げたい二島、開始早々の#18の得点からさらにプレッシャーDefで相模のバイオレーションを誘う。その後、#18、#9の連続得点で追い上げムード。たまた相模タイムアウトをとり流れを切る。しかし、強いプレッシャーに思うようにボールが運ばず点差が縮まり、相模が再びタイムアウト。最後に二島#9が2得点を追加するが、タイムアップ。47-51で、相模女子がベスト8進出を果たした。